

日本宇宙開発の中核見学

平成二十七年四月一八日(土)に1・2・3年理系オナークラスが平成二十七年度科学技術週間「筑波宇宙センター特別公開」に参加した。宇宙航空研究開発機構、英称 JAXA の事業所・施設のひとつとして有名な筑波宇宙センターだが、いったいそこでどのような体験ができたのだろうか。参加した生徒に話を聞いた。



▲50mもある H-II ロケットの実機

茨城県つくば市にある筑波宇宙センターとは、宇宙開発の最先端分野の研究・開発・試験を行っている日本における宇宙開発の中核センターである。そこで毎年行われる特別公開は年に

一度しか開催されないというところもあり、家族連れや学生など多くの参加者が会場を訪れていた。特別公開では一般公開している展示館はもちろん、普段は公開されていない宇宙ロケット実験室や人工衛星の組立・試験現場などが公開される。またロケット打上げ音響の体験や液体窒素を使った実験など実演も多く行われており、どのイ

ベントも参加者の興味を引いていた。

参加した本校の生徒はグループに分かれて見学した。小池うららさん(1年)に感想を聞くと「宇宙に関する展示・説明がたくさんあって、とても興味深い体験ができました。ロケットの実際や実験などが見学できてよかったです。また最新技術の説明もあり、とても分かりやすかったです」と話してくれた。

また、事前の抽選に当選した人のみ体験できる『きぼう』日本実験棟運用管制官の模擬体験に参加することができた生徒もいた。その体験では、国際宇宙ス



▶ヘッドセットを装着し、モニターで宇宙船内状況確認

テーションの宇宙飛行士に向けて指令や情報を送ることや「きぼう」の管理など、実際に運用管制官が行っている仕事を体験することができる。参加者は5つのチームに分かれて、実際の運用管制官に指導を受けながら『きぼう』から小型衛星を放出する」というミッションに向けて、それぞれチームごとに与えられた仕事を行った。模擬体験に参加することができた河井藍季さん(2年)に感想を聞くと「一人ひとりが個々の仕事を頑張ったことでミッションを成し遂げられた、ということにとっても感動を覚えました。小型衛星が放出された瞬間に、打ち上げの裏にはどれだけの人の努力があったのだろうと、影で働いている人たちの凄さを実感しました」と語り、貴重な体験を通して感じた思いを話してくれた。(長澤)

また、好きな食べ物はハヤシライスとたこ焼きで、苦手な食べ物は白玉とお汁粉お雑煮です。

新入部員紹介

石井ほのか

皆さんこんにちは。1年5組の石井ほのかです。私の趣味は二つあります。一つ目は、ゲームをすることです。アプリのゲームやゲームソフトだけでなくネットゲームも好きです。二つ目は、動画を見ることです。

閉ざされた屋上の謎

入学式号に引き続き、高経附の謎を解明していく。今回は学生の憧れ「屋上」の謎に迫る。誰もが一度は疑問を抱く、最上階の立ち入り禁止の看板の先は一体どうなっているのだろうか。そこで特別に許可をいただき、屋上の取材撮影を行った。



▲写真左が校庭側、右が浜川プール側。高崎を一望できる。

隠れた展望スポット

校舎の屋上はドラマなどではしばしば青春の舞台として扱われる。しかし、残念なことが高経附の屋上は立ち入り禁止となっており、多くの生徒にはあまりなじみがない場所だ。いったいこの学校の屋上はどのような様子なのだろう。

写真が屋上の様子だ。本校の屋上は周辺に遮るものがないため見晴らしが非常によい。ただその分群馬特有の強風が直接吹き付けるので、風が強い日は目を開

隠れた天体観測スポット

実は本校の屋上には、屋根部分に半球体がついた謎の建物がある。この建物は多くの生徒が出入りする校門方向からは確認しにくいので、存在を知らない人も少なからずいるようだ。し

を使ってこの学校や地域のことなどを紹介できればと思います。この部活に入った理由は、配布された新聞を読んだときや部活見学をしたときに、新聞部に入って文章力やコミュニケーション能力を高めたかと思うからです。全校生徒だけでなく保護者や地域の方々にも読んでいただくため、わかりやすく興味を引く文章を書けるように頑張りたいと思っています。現在、



▲屋上東側にある天体観測用施設

か浜川運動公園の方向から学校の屋上を見ると、丸く突き出た屋根らしきものを確認できる。これはいったい何なのだろう。

実はこれは天体観測用の施設なのだ。写真が内部の様子である。このようになり大規模な天体望遠鏡が設置されており、非常に充実した設備であることがうかがえる。現在でもこの規模の天体望遠鏡が設置されている学校はあまり多くなく、全国的に見ても珍しい設



備だということがわかるが、残念ながら最近あまり使用されていないようで、室内には薄く埃が積もっている状態だった。しかもこの設備、今秋に行われるかもしれない耐震工事時に取り壊されてしまう可能性があるらしい。校舎の老朽化も進み、重量の大きい望遠鏡を設置したままにしておくのは確かに危険かもしれない。が、これほどのすばらしい設備がなくなってしまうのは非常にもったいないのではないだろうか。ここが再び活用され、多くの生徒にとってなじみの場所になることを祈る。(千葉)

本間姫歩

はじめまして、1年3組の本間姫歩です。姫歩と書いてぴぼと読みます。好きな食べ物は、甘いものや魚介類です。趣味は絵を描くことで、The TKF TIMESでは自分の描いたイラスト

新聞部は2年生5人と、1年生2人の計7人という少ない人数で活動しています。新聞部に興味を持った人は是非見学に来てください。

部員から一言

新入部員の皆さん、まずは入部してくれてありがとうございます。2年生は2人を全力でサポートできるように努力していきます。これから私たちが引退するまでの1年間、よろしくお願ひします。

第11回経菱祭テーマ決定

Shine

~この一瞬を一生の輝きへ~